

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

精神科救急病棟における睡眠薬の使用実態に関する調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月1日から2021年12月31日に昭和大学横浜市北部病院精神科救急病棟に入院された患者さんの診療録を用います。

2. 研究目的・方法

精神疾患に罹患した多くの患者さんに不眠が出現することが知られていますが、精神科の診断基準であるDSM-5では、不眠は医学的疾患の危険性を増加させ、医学的問題は不眠の危険性を増加させるとされており、原疾患との関連性も指摘されています。不眠は不安障害、気分障害、統合失調症など機能的な精神疾患で必発症状であり、初発症状、再発の契機となり、精神症状の増悪因子としても働くため、精神疾患の治療において睡眠への対処は極めて重要になります。昭和大学横浜市北部病院は689床の総合病院であり、42床の精神科救急入院料算定病棟（スーパー救急病棟）を有しています。スーパー救急病棟には比較的重症度の高い患者さんが非自発的に入院することが多く、不眠症が併存している患者さんも多く、睡眠薬の処方も高頻度で行われています。今回我々は2014年から2021年に当院のスーパー救急病棟に入院した患者さんのデータベースを基に、睡眠薬の処方実態と年次ごとの推移を集計し、その傾向について検討いたします。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される審査結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2022年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2014年1月1日から2021年12月31日に昭和大学附属烏山病院のスーパー救急病棟に入院した患者さ

んの診療録から、以下の情報を抽出します。

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 生活状況（単身生活か否か）
- ・ 障害年金受給
- ・ 生活保護受給
- ・ 飲酒歴
- ・ 喫煙歴
- ・ 診断名
- ・ （精神科での）罹病期間
- ・ （精神科での）通院期間
- ・ 入院回数
- ・ 精神保健福祉法における入院時形態
- ・ 精神保健福祉法における退院時形態
- ・ 精神科救急病棟の在棟日数
- ・ 隔離施行
- ・ 拘束施行
- ・ 入院時、退院時の重症度（CGI）
- ・ 身体的合併症
- ・ 初回投与、最終投与の向精神薬、抗パーキンソン薬の種類、量

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

氏名：山田 浩樹

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区 35-1 電話番号：045-949-7000

研究責任者：

所属：昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター 山田 浩樹